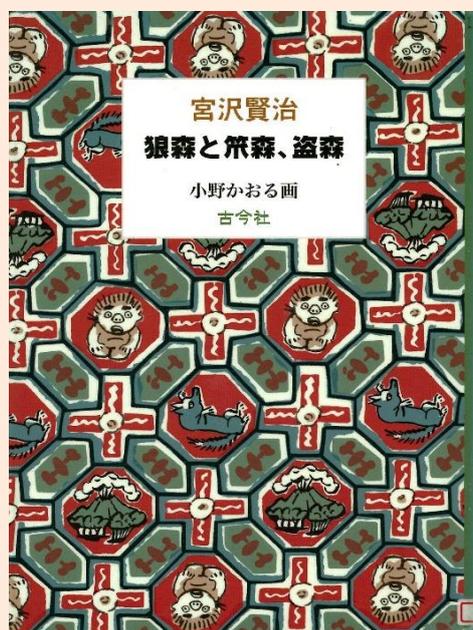


おいのもり      ざるもり      ぬすともり

## 『狼森と箕森、盗森』 古今社

宮沢 賢治／著    小野 かおる／画

ずっと昔の話。岩手山が何度も噴火し鎮まると、狼森・箕森・黒坂森・盗森という黒い松の森が4つできた。この森に囲まれた小さな野原に家族を連れてやって来た4人の農民が「ここへ畑起こしてもいいかあ」「家建ててもいいかあ」と叫ぶと、森が「いいぞお」と答えたので生活を始めた。すると、不思議な出来事が次々と起こり…。



人と森が互いを思いやり、おおらかに生活している様子がほほ笑ましく、温かい気持ちになる。世界中で争いが絶えず、天災に苦しむ地域もあることを思いやりながら、宮沢賢治の自然観・人間観に触れてみてほしい。